

令和3年度 宮城県仙台南高等学校「志教育」年間指導計画

3つの視点		わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす					
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	数学	○	○	○	理科	○	○	○	
	言語文化に対する関心を深めることによって、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨くとともに自己表現や他者理解に必要な「伝え合う力」を養う。				日本と世界各国の歴史、地理の理解を最大の契機として、民主的で文化的な国家の発展、世界平和と人類の福祉に貢献し得る自覚と資質を養う。				日本国憲法を最大の要点として現代社会の理解を図り、民主社会の構成員、すなわち主権者としての自覚と資質を涵養する。				日々の授業を通して日常生活や将来の職業における諸問題を、論理的および数学的思考力を用いて解決する能力を育てる。				自然科学に関わる各分野の学習に積極的・意欲的に取り組むことにより、社会から求められる問題解決の能力や態度を身につける。				
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○	
	健やかな心身の育成に役立つとともに、生涯を通じて主体的にスポーツを楽しむ資質や能力を育み、生活を豊かにする態度を育てる。				生徒一人一人の興味関心や個性を生かし、地域の特徴を踏まえながら、芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。				外国語を通じて、外国の文化・習慣に対する関心を深め、さらに情報や考えを適切に伝えたりするコミュニケーション能力を育てる。				「生活すること」に興味・関心を持ち、男女が協力し自立した生活を実践するために必要な知識や技術を身につける態度を育てる。				情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解するとともに、情報と情報技術の問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方を養い、情報社会の発展に主体的に寄与する態度を育てる。				
学年共通								わかる	もどめる	はたす	各学年指導目標										
指導内容	挨拶励行				◎			1年	・新しい環境に適應させる。 ・学年内の関係づくりを促進する。 ・自己理解や他者理解に努める。 ・学びの基礎をつくり、将来についての指針を立てる。												
	清掃活動				○		◎		2年	・自らの目標を選択させる。 ・社会体験を通し、知識と社会との関連させる。 ・学びの質と量を高め、今後の生き方について主体的に探求させる。 ・上下関係を交えた関係づくりの中から学びの総合力を高める。											
	読書活動の推進					◎	◎	3年		・将来につながる精神的強さを身につける。 ・視野を広げ思考を豊かにするための「知識・技能」を身につける。 ・社会との関わりを意識し、「思考力・判断力・表現力・行動力」を高める。 ・将来の進路を見つめ継続努力する意志を持たせる。											
	生徒の自主活動の推進				◎	◎	◎			身だしなみを整える				○		◎	部活動への積極的参加				◎
	指導内容				ねらい			指導教科等		実施時期	時数	わかる	もどめる	はたす							
	1年	スタディーサポート				現状把握・今後の学習・生活指針構築の補助。			進路指導		4月	3	◎	○							
進路適性検査(R-CAP)				興味関心と適性を診断し、キャリア意識を高める。			総探		4月	1	○	○									
ジェネリクススキルテスト(PROG-H)および講話				新しい時代に必要不可欠な汎用的な能力を測定し、学校生活の中で伸ばしたい力を認識する。			進路指導		4月・6月	4	◎	○									
シンキングトレーニング				価値創造や思考法に関する学びを通し、社会の中で自分の役割を考えながら、自分らしい生き方を模索する。			総探		通年	15	○	○									
オープンキャンパス				普段触れる機会の少ない地域の大学を体験させ、新たな発見や意欲を喚起させる。			総探		9月	2	○	○									
キャリアセミナー				社会人の外部講師などを依頼し、視野を広げると共に理解を深め、社会人という視点から現在のあり様を自覚する機会とする。			総探		10月	5	◎	○									
進路講演会				社会人の講師の話を聞くことで、希望を達成するため、今何をすべきかを考える機会とする。			進路指導／総探		9月	2	○	○									
2年	課題研究(地域課題解決実践)				地域課題を解決する目的からシンキングスキルを体験する。身近なところにも課題があることを知る。			総探		通年	25	○	○	○							
	スタディーサポート				現状把握、今後の学習・生活指針構築の補助。			進路指導		4月	3	◎	○								
	論文講演会				社会的課題について理解を深めるとともに、知識基盤社会を生き抜くために必要な知識・技能を知る。			進路指導／総探		4月	4	○	○								
	夢ナビライブ(WEB開催)				大学での学びや最先端の情報に触れることで、キャリア意識を高め、自らの進路選択に生かす。			進路指導／総探		7月	5	◎	○	○							
	オープンキャンパス				普段触れる機会の少ない地域の大学を体験させ、新たな発見や意欲を喚起させる。			総探		9月	2	○	○	○							
	進路講演会				社会人の講師の話を聞くことで、希望を達成するため、今何をすべきかを考える機会とする。			進路指導／総探		9月	2	○	○								
	キャリアセミナー				社会人の外部講師などを依頼し、視野を広げると共に理解を深め、社会人という視点から現在のあり様を自覚する機会とする。			総探		10月	5	◎	○								
3年	東北大学教職実践演習				大学生との交流を通して、将来展望の明確化を図り、生活習慣を評価する。			進路指導／総探		12月	3	○	○	○							
	課題研究				課題テーマ設定を通して課題を絞り込み探究する。探究・発表・振り返りのサイクルで自分の学びを精選する。			総探		通年	35	○	○	○							
	進路講話				様々な立場からの話を聞かせ、自分の進路を決める一助とする。			進路指導		4月	2	○	○	○							
	論文講演会				社会的課題について理解を深めるとともに、知識基盤社会を生き抜くために必要な知識・技能を知る。			進路指導／総学		4月	3	○	○								
	進路講演会				社会人の講師の話を聞くことで、希望を達成するため、今何をすべきかを考える機会とする。			進路指導／総学		9月	2	○	○								
	進路研究(ケーススタディ)				進路を基に社会との関わりを意識した自己表現力を身につけさせ、自立意識を高めさせる。			進路指導／総学		通年	4	○	○								
	課題研究				社会問題解決に向けての方策探究・課題解決を真摯に考えさせ、実践させることで「学びの総合力」を高める。			総学		通年	11	○	○	○							
合計時数										138											